

地域もクマも守る 四国の社会イノベーションプロジェクト

活動地域  四国

ひろげる助成

2年目

実践

シンポジウム閲覧数 **1,681回**

普及啓発パネルの
展示施設数 **11か所**

今年度計画の達成度 **90%**

目標達成度 **70%**



シンポジウム運営スタッフ

活動内容と成果

- ①調査・活動ステーションの設置、座談会や展示会の実施、普及啓発パネルの展示、チラシ配布、映像制作、オンラインシンポジウムの実施、プロジェクトHPの公開など、地域への情報発信を行った
- ②養蜂実施者と協力して、電気柵を用いた養蜂被害対策を1か所で行った
- ③19地域に49台の自動撮影カメラを設置した結果、13頭のツキノワグマが識別された。既知の生息分布域周辺の一部地域では恒常的に生息している可能性が考えられた
- ④地元の企業・団体と連携して、ツキノワグマに関連する商品が3件商品化された



生息地で地元の学生に
クマの現状を伝える

課題

四国に生息するツキノワグマは僅か約20頭と推定され、回復傾向がみられない。早急な保全対策が必要だが、地域住民のツキノワグマへの許容度は十分に高いはない。

目標

①地域への普及啓発、②トラブル防止の体制整備、③生息状況の把握、④ツキノワグマの保全による利益の創出により、地域がクマの生息を許容できる体制基盤を構築する。



今後の
展望

軋轢防止の体制を整備すると同時に、クマを残すことが地域にとっての価値と感じてもらえるような情報発信や地域協働の取組みを推進していく。地域住民を対象にした意識調査により一連の活動の効果を測定する。

苦労した点と工夫した点

■ 苦労した点

地域住民と対面交流する機会が減少し、地域住民のニーズや普及啓発活動による意識の変化具合を把握することが困難。

■ 工夫した点

映像制作やシンポジウムのオンライン開催、プロジェクトHPの公開など、オンラインによる情報発信を強化した。

〒785-0023
高知県須崎市下分乙470-1
電話：0889-40-0840
E-mail：sion@lutra.jp
HP：http://www.lutra.jp/

